

令和5年度「新嘗祭献穀田拔穂式」が執り行われました

▼発生年月日：2023/9/18

▼執筆者名：相澤 美里

▼センター名：西讃農業改良普及センター

▼部門分類：水稻

▼活動分類：総括

▼公開：公開

▼備考：

▼本文

1) 毎年、皇居宮中で行われる新嘗祭では、全国各地のその年に設置された「献穀田」で収穫された新穀が献上されており、今年の献穀田は三豊市山本町の大橋正幸氏のほ場が選ばれました。

三豊市では献穀田の行事を行うにあたり、市や関係団体などで構成する「三豊市稲作文化伝承事業実行委員会」を設立し、5月の播種式、6月の田植式を経て、9月18日に「新嘗祭献穀田拔穂式」が開催されました。

2) 当日は、大橋御夫妻のほか池田県知事、山下市長など43名が、献穀田で黄金色に実った「あきさかり」の稲穂の束を鎌で刈り取りました。

大橋氏は「若苗が立派に生育し、拔穂式を迎えられたことは、関係者の御指導、御支援のたまものであります。新嘗祭に献納させていただくことは、農家にとってこれ以上ない喜びです。」と謝辞を述べられました。

3) また、拔穂式の終了後には、農業への理解を深めるため、地元の山本小学校5年生10名が鎌で稲を刈り取る収穫体験も行われました。

4) 収穫した稲穂は、はぜかけで自然乾燥した後、脱穀・粃摺り・選別を行い、11月23日に皇居で行われる献穀献納式で精米1升を献納する予定です。

普及センターでは、実行委員会の一員として、今後も支援を行ってまいります。



拔穂式で稲穂を刈り取る献納者及び関係者